

2014年5月30日  
株式会社損害保険ジャパン  
日本興亜損害保険株式会社

## 日本版ステュワードシップ・コードの受入れについて

株式会社損害保険ジャパンおよび日本興亜損害保険株式会社は、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版ステュワードシップ・コード》の趣旨に賛同し、受け入れることを表明します。

### 「責任ある機関投資家」の諸原則 《日本版ステュワードシップ・コード》

1. 機関投資家は、ステュワードシップ責任を果たすための明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
2. 機関投資家は、ステュワードシップ責任を果たす上で管理すべき利益相反について、明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
3. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に向けてステュワードシップ責任を適切に果たすため、当該企業の状況を的確に把握すべきである。
4. 機関投資家は、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」を通じて、投資先企業と認識の共有を図るとともに、問題の改善に努めるべきである。
5. 機関投資家は、議決権の行使と行使結果の公表について明確な方針を持つとともに、議決権行使の方針については、単に形式的な判断基準にとどまるのではなく、投資先企業の持続的成長に資するものとなるよう工夫すべきである。
6. 機関投資家は、議決権の行使も含め、ステュワードシップ責任をどのように果たしているのかについて、原則として、顧客・受益者に対して定期的に報告を行うべきである。
7. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に資するよう、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づき、当該企業との対話やステュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。

以上